

C 効果促進事業				直接 間接	事業 主体	省略・工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体							H21	H22	H23	H24	H25	H26		
5 - C1	計画・調査	一般	佐賀県	直接		計画・調査	当計画の事業評価	アウトカム評価, 費用便益算出	武雄市、鹿島市、嬉野市、大町町、江北町、白石町、太良町							0.9	
5 - C3	計画・調査	一般	武雄市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	長寿命化修繕計画(15m以上)	武雄市							16.0	
5 - C4	計画・調査	一般	武雄市	直接		計画・調査	武雄温泉駅周辺整備構想策定	基本構想策定	武雄市							10.7	
5 - C5	計画・調査	一般	嬉野市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	長寿命化修繕計画(15m以上)	嬉野市							4.5	
5 - C6	計画・調査	一般	白石町	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	長寿命化修繕計画(15m以上)	白石町							3.7	
5 - C7	計画・調査	一般	太良町	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	長寿命化修繕計画(15m未満)	太良町							2.8	
5 - C8	計画・調査	一般	鹿島市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	長寿命化修繕計画(全橋梁)	鹿島市							18.8	
5 - C9	計画・調査	一般	武雄市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	長寿命化修繕計画(15m未満)	武雄市							6.4	
5 - C11	計画・調査	一般	嬉野市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	長寿命化修繕計画(15m未満)	嬉野市							16.9	
5 - C12	計画・調査	一般	白石町	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	長寿命化修繕計画(15m未満)	白石町							6.2	
										合計						86.9	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
5 - C1	当計画の効率的・効果的な展開を図ることを目的として、アウトカム指標の評価や費用便益の算出にかかる調査を行う。	
5 - C3	当計画の効果を向上させることを目的として、道路橋(15m以上)の橋梁長寿命化修繕計画の策定を行う。	
5 - C4	道路事業の整備とあわせて、観光ネットワークの拠点となる駅周辺の利便性向上を図るための整備構想策定を行う。	
5 - C5	当計画の効果を向上させることを目的として、道路橋(15m以上)の橋梁長寿命化修繕計画の策定を行う。	
5 - C6	当計画の効果を向上させることを目的として、道路橋(15m以上)の橋梁長寿命化修繕計画の策定を行う。	
5 - C7	当計画の効果を向上させることを目的として、道路橋(15m未満)の橋梁長寿命化修繕計画の策定を行う。	
5 - C8	当計画の効果を向上させることを目的として、道路橋の橋梁長寿命化修繕計画の策定を行う。	
5 - C9	当計画の効果を向上させることを目的として、道路橋(15m未満)の橋梁長寿命化修繕計画の策定を行う。	
5 - C11	当計画の効果を向上させることを目的として、道路橋(15m未満)の橋梁長寿命化修繕計画の策定を行う。	
5 - C12	当計画の効果を向上させることを目的として、道路橋(15m未満)の橋梁長寿命化修繕計画の策定を行う。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I アウトカム指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> バイパス整備や現道拡幅等を行った結果、交通の円滑化が図られ、JR武雄温泉駅やJR肥前鹿島駅等へのアクセス性が向上した。 歩道整備等を行った結果、車両と歩行者の分離が確立され、道路利用者の安全性が向上した。 			
II アウトカム指標の達成状況	指標①(15分間アクセス可能圏域面積の増加)	最終目標値	2.0%	目標値と実績値に差が出た要因	効率的な事業展開により、道路整備の進捗が図られたため。
		最終実績値	6.1%		
	指標②(通学路緊急合同点検における要対策箇所 の縮減)	最終目標値	38箇所	目標値と実績値に差が出た要因	効率的な事業展開により、道路整備の進捗が図られたため。
		最終実績値	12箇所		
III アウトカム指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

計画期間内に完了しなかった事業については、引き続き事業を推進し早期の効果発現を目指す。